



6次産業化アワード

農林水産省参加行年

地産地消等優良活動表彰

令和3年度

6次産業化・地産地消 優良事例集



農林水産省

目次

CONTENTS

第一部	優良活動表彰	05
	6次産業化アワード 表彰の概要・受賞者一覧	06
	地産地消等優良活動表彰 表彰の概要・受賞者一覧	08
	表彰式概要	10
第二部	6次産業化優良事例	11
	農林水産大臣賞 尾鷲物産株式会社	12
	大臣官房長賞 パーソルサンクス株式会社とみおか醸工房	14
	大臣官房長賞 有限会社松幸農産	16
	大臣官房長賞 有限会社小野養豚	18
	大臣官房長賞 株式会社くしまアオイファーム	20
	協議会奨励賞 株式会社ちば南房総	22
	協議会奨励賞 有限会社黒富士農場	24
	学生応援賞 有限会社三陸とれたて市場	26
	学生応援賞とは	28
第三部	地産地消優良事例	29
	生産部門 農林水産大臣賞 鯖江市伝統野菜等栽培研究会	30
	生産部門 大臣官房長賞 しろう農園株式会社	32
	食品産業部門 農林水産大臣賞 有限会社伊豆沼農産	34
	食品産業部門 大臣官房長賞 スターフーズ株式会社	36
	食品産業部門 全国地産地消推進協議会会長賞 稲作本店	38
	教育関係部門 文部科学大臣賞 伊江村立伊江中学校	40
	教育関係部門 大臣官房長賞 群馬県立勢多農林高等学校	42

第一部
優良活動表彰

表彰の概要

農林漁業の6次産業化とは、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業などの事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出し、農山漁村の所得の向上や雇用の確保を目指す取組です。本表彰は、異業種や地域とのネットワークを積極的に構築し、新たな視点で6次産業化に取り組み、地域を活性化している事業者を表彰するものです。

- 応募期間：令和3年6月15日（火）～8月11日（水）
- 応募数：72件
- 審査基準：地域資源活用、新規性・革新性・独創性、販路拡大への取組、事業の継続性・安定性、地域経済への波及効果、持続可能性への配慮、今後の発展性
- 対象者：6次産業化や農商工連携に主体的に取り組んでいる農林漁業者又はその組織する団体であって、その経営が一定の規模以上の農林漁業者など

審査委員

早稲田大学政治経済学術院 名誉教授 日本農業経営大学校 校長	座長 堀口 健治
公益社団法人日本農業法人協会専務理事 前日本政策金融公庫農林水産事業本部営業推進部長	副座長 紺野 和成
株式会社エムアイフードスタイル（三越伊勢丹グループ） 代表取締役社長執行役員	雨宮 隆一
株式会社金沢大地 代表取締役	井村 辰二郎
株式会社恵那川上屋 代表取締役	鎌田 真悟
全国地方新聞社連合会 会長 西日本新聞社 執行役員 東京支社長兼編集長	都留 正伸

受賞者一覧

賞名	都道府県	市町村	受賞者名
農林水産大臣賞	三重県	尾鷲市	尾鷲物産株式会社
大臣官房長賞	群馬県	富岡市	パーソルサンクス株式会社 とみおか醸工房
大臣官房長賞	三重県	多気郡 明和町	有限会社松幸農産
大臣官房長賞	山口県	萩市	有限会社小野養豚
大臣官房長賞	宮崎県	串間市	株式会社くしまアオイファーム
協議会奨励賞	千葉県	南房総市	株式会社ちば南房総
協議会奨励賞	山梨県	甲斐市	有限会社黒富士農場
学生応援賞	岩手県	大船渡市	有限会社三陸とれたて市場

協議会座長の講評

今年も72件と多数の応募がありました。内容も、新規の商品化に加え、多面的な加工・製造の2次産業、飲食を伴うサービスや輸出・直売・通販を含む流通革新を包含する3次産業など、大きく広がるもので印象的でした。

また農福連携や女性の活躍など、雇用の広がりだけでなく、SDGsを強調するものもあり、時代を意識した内容になっています。コロナ禍でも生活に必須の1次産業の重要性を意識して、販売スタイルや商品形態を大胆に変え、需要者に合わせた経営体が多くあることも実感しました。

それぞれ特徴があるので選考は至難でしたが、6次産業化の成果を社会的に広めたところが賞に選ばれたと思われます。



早稲田大学政治経済学術院
名誉教授
日本農業経営大学校 校長
座長 堀口 健治

地産地消等優良活動表彰

表彰の概要

地産地消は、地域の生産者と消費者を結び付け、食料自給率の向上を図る上で重要であるとともに、直売や加工などを通じて、農林漁業の6次産業化による地域の活性化への推進が求められています。また、こうした取組は、国産農林水産物の魅力を広く発信し、消費者の日本の食や農林漁業への理解を促し、国産農林水産物の消費拡大を推進していくことが期待されています。そこで全国各地の創意工夫ある様々な地産地消及び国産農林水産物・食品の消費拡大、子どもや若者への地場産物に係る教育に取り組んでいる団体などを表彰するものです。

- 応募期間：令和3年6月15日(火)～8月11日(水)
- 応募数：93件(生産部門：22件、食品産業部門：43件、教育関係部門：28件)
- 審査基準：組織・取組の体制、農林水産業の振興への貢献、安定的な生産・供給、利用促進による消費拡大、理解推進
- 対象者：地産地消や国産農林水産物・食品の利用促進・消費拡大、子どもや若者への地場産物に係る教育を行う団体、企業、学校又は個人
 1. 生産部門
農林水産物を生産する団体・企業(自治体、農業組合、生産者(生産者の加工・製造・販売などを含む)、直売所)など
 2. 食品産業部門
農林水産物を加工・流通・販売する団体・企業(食品産業、加工、製造、流通、小売(量販店・消費生活協同組合)、外食、中食(弁当、惣菜)、給食(社員食堂、病院、福祉施設))など
 3. 教育関係部門
幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学など

審査委員

東京農工大学大学院 農学研究院 教授	委員長 野見山 敏雄
オトワレストラン オーナーシェフ	音羽 和紀
株式会社シンセニアン 代表取締役	勝本 吉伸
淑徳大学 看護栄養学部 客員教授 株式会社オフィス田中 代表取締役	田中 延子
京都府立大学 生命環境科学研究科 准教授	中村 貴子
八王子農業協同組合 菱山ファーム	菱山 まり子
株式会社山際食彩工房 代表取締役	山際 博美

受賞者一覧

部門	賞名	都道府県	市町村	受賞者名
生産	農林水産大臣賞	福井県	鯖江市	鯖江市伝統野菜等栽培研究会
	大臣官房長賞	沖縄県	宮古島市	しろう農園株式会社
食品産業	農林水産大臣賞	宮城県	登米市	農業生産法人 有限会社伊豆沼農産
	大臣官房長賞	大分県	宇佐市	スターフーズ株式会社
	全国地産地消推進協議会会長賞	栃木県	那須郡 那須町	稲作本店
教育関係	文部科学大臣賞	沖縄県	国頭郡 伊江村	伊江村立伊江中学校
	大臣官房長賞	群馬県	前橋市	群馬県立勢多農林高等学校

審査委員長の講評

3部門合わせて93件の応募がありました。いずれも素晴らしい取組ばかりでした。今回の審査を経て感じたことを3点お伝えします。

第1は、地域の農林水産業に根ざした豊かな食文化を育み、ネットワークを作りながら活動された団体や企業が多くありました。第2に、各種の農業賞を受賞された後も事業拡大と活動範囲を広げている団体が多くあります。第3に、受賞団体は農業団体、食品企業、行政、教育機関、消費者など多くの人を巻き込んで活動を行っています。地域内の農産物や農業資源、労働、貨幣を循環させて地域を豊かにしていくことこそ、地産地消の目指すべき姿ではないかと考えます。



東京農工大学大学院
農学研究院 教授
委員長 野見山 敏雄

表彰式概要

タイトル 6次産業化・地産地消優良事列表彰

日程 2022年1月21日(金) 配信時間 14:00

会場 浜離宮朝日小ホール (東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階)

- プログラム**
- 開 会
- 1部 表彰式
6次産業化アワード
地産地消等優良活動表彰
 - 2部 6次産業化アワード取組事例の紹介
動画
講評
受賞者の声
 - 3部 地産地消等優良活動表彰取組事例の紹介
動画
講評
受賞者の声

閉 会

仕 様 オンライン配信 (YouTube配信)
https://youtu.be/V56ik_OfMeY

主 催 農林水産省、6次産業化推進協議会、全国地産地消推進協議会